

～「市民により開かれた議会」～

平成30年度 議会報告会開催

多くの皆さまのご参加、ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんに、掛川市議会がどんな活動をしているのか、また、市の重要課題にどう対応しているのかを知っていただくとともに、ご意見を伺い、議会活動に活かすため、議会報告会を開催しました。総参加人数は549人（前年度比27人増）で、議会や市政について多くのご意見をいただきました。

■会場と参加人数

開催日	地域	会場	参加人数
11月 2日(金)	原野谷中学校区	原田地域生涯学習センター	37人
12日(月)	栄川中学校区	東山口小学校体育館	63人
13日(火)	桜が丘中学校区	和田岡地域生涯学習センター	54人
14日(水)	東中学校区	南郷地域生涯学習センター	72人
16日(金)	城東中学校区	大東北公民館	46人
20日(火)	西中学校区	市役所4階会議室1	67人
21日(水)	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター	89人
27日(火)	北中学校区	初馬会館	75人
29日(木)	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター	46人



議会報告会の様子

開催内容

報告 日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言について

テーマ 常任委員会の取り組みについて

総務委員会 掛川市の都市づくりと地区自治組織の在り方について
環境産業委員会 掛川市の森の在り方や活用方法を考えた再生可能エネルギー
文教厚生委員会 掛川市の待機児童の現状と対策

みなさんからの主なご意見（アンケート・会場での質疑より）

総務委員会

総務委員会素案に賛成です。ぜひ頑張ってください。まち協事務局の充実、確かにその通りです。有償と増員、これが必要だと思います。事務局員にはそれぞれの担当部門を決めて、その部との連携と取り組みを行うべきだと思います。

総務委員会素案には反対します。区の仕事は身近な運営に関わる業務であり、まち協は10年先、20年先の地区のあり方を考える組織です。同時に考えるには無理があります。

「まちづくり協議会」議会よりの提言はごもっとも。区役員と兼任して活動しているが、やらされ感満載。根本から組織を考えての取り組みに賛成。

まちづくり協議会の組織は統一する必要はないと考えます。地域にあった形を3事例程提示し、選択していけばよいと思う。

現在、区の役員として地区の活動参加がやたらと多くてまっています。全ての活動で地区発展のため、まち協会長と区長会長の兼務は非常に厳しい。事務局が充実していないと不可能。まち協が発足して時間が短く地域差が大きい。